

住宅火災から命を守るため 住宅用火災警報器を設置しましょう

全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられました

消防法の改正により、全ての住宅に住宅用火災警報器の設置が義務付けられ、町火災予防条例で設置・維持の基準が定められました。

●いつから設置が必要になるの？

・新築住宅については、今年六月一日からです。

・既存住宅については、平成二三年五月三十一日までに設置が必要です。

●対象となる住宅は？

戸建住宅、店舗併用住宅、共同住宅（マンション・アパート・寄宿舎）など、全ての住宅が対象です。ただし、消防法令等により自動火災報知設備等が設置されている住宅の部分は除きます。

●住宅用火災警報器とはどんなもの？

火災の発生を早期に感知し、警報音又は音声で知らせるものです。電源は、電池タイプと家庭用電源（一〇〇V）を使うタイプがあります。警報器の種類

- ・煙式警報器

煙を感知すると警報音又は音声で知らせるもので、すべての部屋、階段、廊下に設置することができます。

- ・熱式警報器

熱を感知すると警報音又は音声で知らせるもので、日常的に煙や蒸気の多い台所には設置できませんが、他の場所には設置できます。

●誰が取り付けるの？

設置する義務のある者は住宅の関係者（所有者、管理者又は占有者）です。持ち家の場合はその所有者が、アパートや賃貸マンションなどの場合には、オーナーと借受人が協議して設置することになります。

●どこに取り付けるの？

基本的な取り付け場所は、寝室と台所です。その他条件（寝室の位置等）により、階段や廊下に設置が必要な場合があります。

●取り付け位置は？

天井又は壁に設置します。
・天井に取り付ける場合
警報器の中心を壁から六〇cm以上

離して取り付けます。天井にはりがある場合には、はりから六〇cm以上離します。（熱式の場合は四〇cm以上）エアコンや換気扇の吹き出し口付近では一・五m以上離します。

- ・壁に取り付ける場合

天井から十五〜五〇cm以内に警報器の中心がくるようにします。

詳しくは、設置例（五ページ）を参照してください。

●点検、交換期限はいつ？

住宅用火災警報器の点検はボタンやひもで簡単にできますので、業者等が行う必要はありません。また交換期限は機種により異なります。

・自動試験機能の付いていないタイプ
本体に表示された交換期限がきたら本体ごと交換してください。

・自動試験機能付のタイプ
本体に表示された交換期限または機能の異常警報が出たときに本体ごと交換してください。

- ・電池タイプ

定期的な点検のときに警報が鳴らない場合は電池切れが考えられます。また、電池不足になると音やラ

ンプで知らせてくれますので、電池を交換してください。

電池タイプでも電池の交換ができない機種（本体ごと交換）もあります。

●どこで購入できるの？

- ・販売店

消防用設備取扱店及びホームセンター等で購入できます。

- ・価格

電池寿命は一年から十年持つものまであり、市場価格は約三千円から一万二千円前後と機種によりさまざまです。

商品を選択する目安として、消防本部では電



池が長寿命（七年以上）のもの及び日本消防検定協会の鑑定マーク（NSマーク）の付いた物を推奨しています。

●悪質な訪問販売にご注意！

住宅用火災警報器の設置義務化を契機として市場価格を超える高額な価格による販売や「消防署から取り付けに来た」、「この住宅用火災警報器でない」とだめ」などと強引に購入を勧める業者に注意してください。

消防職員が住宅等を訪問して住宅用火災警報器を販売することは絶対ありません。

大切な命を守るためにも住宅用火災警報器を早期に設置しましょう。

問合せ 消防本部

☎八七六一〇一一九 内線三三三

住宅用火災警報器設置例早見表

お知らせ

1階建て



2階建て

●寝室:1Fのみ



Ⓢ : 煙式 ○ : 熱式

●寝室:2Fのみ



●寝室:1F・2F

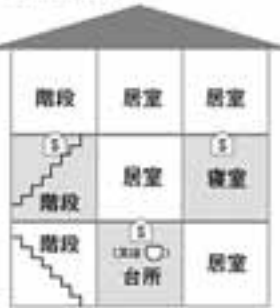


3階建て

●寝室:1Fのみ



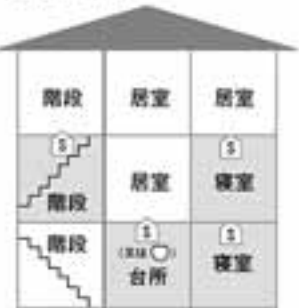
●寝室:2Fのみ



●寝室:3Fのみ



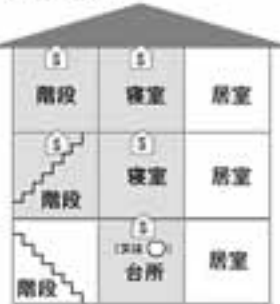
●寝室:1F・2F



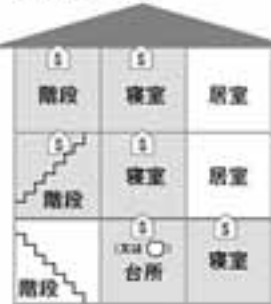
●寝室:1F・3F



●寝室:2F・3F



●寝室:1F・2F・3F



警報器を設置する必要がなかった階で居室(7㎡)が5以上ある場合

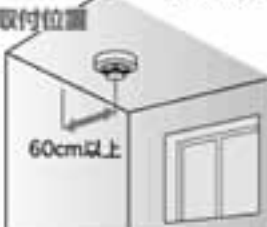


設置例

〈天井の場合〉

▼通常の壁面からの取付位置

火災警報器の中心を壁から60cm以上離します。



▼梁などがある場合の取付位置

火災警報器の中心を梁から60cm以上離します。



天上取付
タイプ



▼エアコンなどの吹き出し口付近の取付位置

換気扇やエアコンの吹き出し口から1.5m以上離します。



〈壁面の場合〉

天井から15~50cm以内に火災警報器の中心がくるように取り付けます。



壁取付
タイプ

